

# 回覧

松浪地区街づくり委員会

松浪地区自治会連合会 会長 名井 協

## 平成24年度市民集会の報告

2012年11月23日

日頃より松浪地区の街づくりにご理解と、ご協力をいただき有難うございます。

さて、9月8日、小和田公民館において開催されました「市民集会」の記録が整いましたので、回覧いたします。市長をはじめ多くの行政責任者と交わされた意見と情報を要約してご報告いたします。

すべてが私たちの地域にとって大切な内容です。ぜひともご高覧下さいますようお願いいたします。

なお、この記録は松浪地区で作成したものです。

「日時」	平成24年9月8日（土）	13時30分～16時30分
「場所」	小和田公民館講義室	
「参加」	住民63名、市議員2名、市役所23名	
「司会」	植松伸擴（松浪地区自治会連合会副会長）、小野江達人（街づくり委員会副委員長）	
「開会挨拶」	名井 協（松浪地区自治会連合会会長）	
「紹介」	行政担当出席者23名	
「挨拶」	服部信康茅ヶ崎市長	
「閉会挨拶」	田島洋子（街づくり委員会副委員長）	
「記録」	平松民平（常盤町自治会会長）	

### 1. 市民集会議まとめ1 事前質問に関するところ・・・1時間35分／延べ発言者数29人

左欄の番号は発言番号 中欄は発言者（または質問番号） 右欄は発言内容（または事前質問内容）

1	小野江	事前質問にない質問は質問内容を受け付けに届け出てください。
	名井	<ul style="list-style-type: none"><li>行政幹部と松浪地区住民が一同に会して共通した問題点を解決に向けて話し合う場。</li><li>松浪地区の人口は茅ヶ崎市の1割を占める、この地区は茅ヶ崎市の縮図。 増え続ける人口、高齢化、整備が進まない道路、大震災への備え、都市が持っている課題は松浪地区も抱えている。</li><li>行政の努力で汐見台小学校の開設や学童通路、辻堂駅西口の整備、 コミュニティセンターの建設準備が進んでいる。</li><li>住民の要望は多様で全て実現は困難だが、要望自体は確実に受けとめて欲しい。</li></ul>
2	市民自治推	行政側出席者の紹介 服部市長、水島福市長、木村副市長、神原教育長、鈴木理事総務部長、山崎企画部長 大八木財務部長、小俣市民安全部長、朝倉経済部長、吉田理事文化生涯学習部長、 夜光（やこう）保健福祉部長、高橋環境部長、篠田理事都市部長、本木建設部長、 塩崎下水道河川部長、太田消防長、水島教育総務部長、金子教育推進部長、細井教育

		指導担当部長、大野木都市計画部長、櫻井警防課長、山中スポーツ施設整備推進担当課長、山田市民自治推進課長、以上23名
3	植松	広瀬、岡崎市議員を紹介
4	服部市長	<p>【今年度の主な取り組み＝防災対策】：1年経過して504項目のうち87%対応済み。国や県の対応を待つ事柄、庁内で検討進めている事柄、残り1年で全て終えたい。総合計画第二次計画は来年度からは3カ年の素案づくり10月中旬にはできるだろう。</p> <p>○総合計画の内容。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人づくりでは待機児童が多いこと。中海岸保育園120名定員でオープン。この先164名の定員拡大予定。平成16年度から640名拡大したがそれを超える入園希望者がいるので今後も精力的に対処する。</li> <li>・消火用小型ポンプの整備、訓練。状況見ながら今後の強化について考えたい。</li> <li>・辻堂駅西口、ようやく完成間近、最終的整備を進め利便性を高めたい。</li> <li>・シークロス内にパスポートセンターを開設できた。</li> <li>・市本庁舎再整備事業基本設計を進めている。</li> <li>・地域コミュニティ事業のモデル地区、松浪地区にエントリーしていただきこれから具体的どういう取り組みを進めてゆくか協議させていただくところ。</li> </ul> <p>○予算の概略のポイント。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・税金など予算総額1210億昨年比7.6%増。昨年、子ども手当は2月分だけだったのでその分差し引くと昨年比1.4%増で昨年並み。</li> <li>・市税は昨年並み。一方歳出で扶助費、生活保護など福祉的予算が10数年で2倍強、これらを抱えながら全体予算執行している。</li> <li>・市の借金の状況。新たに発行した市債と会計年度末での残高を見ると平成15年度の1062億円がピークでそこから減少で推移。</li> <li>・市債残高内訳のうちの「一般会計臨時財政対策債」、これは本来は国が現金で支払うものだが、一時的に市町村が借金して充当し、あとから国から支払われるもの、これが1/4を占めている。これがなければかなり市債は改善されている。</li> </ul>
5	小野江	<p>事前に31件の要望、質問があった。これを一般質問と討議事項に分けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般質問はこの場で行政から直接回答もらうもの。</li> <li>・討議事項は【防災関係全般】と【優しい道づくりを目指して】の二つに分類した。</li> </ul>
質問	Q3	避難場所に指定されている小和田公民館の耐震補強工事が平成30年迄出来ない理由。
6	企画部	<p>耐震性に課題のある公共施設の再整備は公共施設整備再編計画で策定している。耐震性能を示す数値Is値が0.75未満（低い方が危ない）の整備をする。平成20年から32年度までの13年間で低Is値順に工実施中。市内で16公共施設が対象。小和田公民館はIs=0.67で、平成29年度から32年度に工事予定の16施設中13番目。</p>
質問	Q8	各自治会での導入が進んでいる簡易無線は、チャンネル配分を隣接市を含めて全市的レベルで調整する必要があるのではないか。
7	市民安全部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用方法は各自治会に任せている。</li> <li>・チャンネルが錯綜しないように、みなさんのご意見を聞きながらやっていきたい。</li> </ul>

質問	Q 1 0	津波対策の海拔表示はいつ実施されるのか。
8	市民安全部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅ヶ崎市建設業協会の協力で23, 24年度、国道134号から新湘南バイパスまで、南北主要道路の市のカーブミラー169箇所に津波ハザードステッカーを貼付済み。</li> <li>・第3回市議会定例会で東電電柱に海拔表示400箇所貼付の補正予算を提出。 A3版タテの大きさ。</li> </ul>
質問	Q 1 1	コミバス（松浪小和田線）について、問題点と今後の方針は？
9	都市部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成14年運行開始以来10年経過。 東部循環市立病院松浪小和田線は平成19年から運行開始したが、利用者少なく平成22年3月に地域の声を聴きながら運行改善（減便）した。 平成22、24年に自治会を通してアンケート調査、辻堂駅への延伸など意見あり。 コミバスのあり方、交通のあり方は松浪連合会も参加して地域交通会議で議論中。 24年度中に方向が出て運行改善されると認識している。</li> <li>・実態調査結果⇒東部循環線は運行経費に対して収入が少なく、市の負担率は71%。 松浪小和田線が多くを負担を強いられている。 もう一つのルートは昨年比25%増で松浪小和田線は何らかの改善をしてゆく。 東部市立病院線は23年度の乗車数6万人、うち松浪小和田線は5800人。</li> <li>・地域交通会議を設置、1回目開催、2回目は9月26日の予定。 HPの街づくり欄に概要記事掲載あり。</li> </ul>
質問	Q 1 2	市保有地を防災倉庫や防災無線設置などへ貸し出しできないか。
10	財務部	<p>市の財産は2種類ある</p> <p>【学校など公共のために使用目的が定まっている行政財産】+【それ以外の普通財産】。</p> <p>行政財産⇒目的外使用は困難。</p> <p>普通財産⇒条例により、自治会で防災倉庫や無線設置場所として利用可能。</p>
11	加藤	窓口一元化を考えて欲しい。
12	財務部	申請であちこち行かなくても簡便に一箇所で済むように庁内で検討してまとめます。
質問	Q 1 3	コミュニティセンター建設の総合計画第二次実施計画での位置づけは？
13	企画部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設整備再編計画では市民の利便施設と消防施設の複合施設として位置づけ。</li> <li>・県から平成24年度内用地の取得を完結する予定。</li> <li>・用地取得後に地域集会施設の機能の議論を進められる枠組を作る。</li> <li>・25年度に設計、26年度に建設工事、27年度に開館、の予定で事業費を配分。</li> <li>・地域集会施設に併設する施設として、公園や子どもたちのスペース、ボランティアセンター等福祉施設、様々な複合パターンがあると考えている。 敷地が約2500平米で、地域の皆様と緊密に連携して検討したい。</li> <li>・津波避難施設としての配慮も必要。 第一種低層住宅専用地域で低層住宅の住居環境を維持すると10mの高さ制限指定。 地域集会施設は10mの高さ制限では2階建てが想定される。 地盤面が海拔8m、2階建ての屋上18mで津波一時避難退避場所の機能は有る。</li> </ul>
質問	Q 1 8	遊休農地の公園などへの積極活用を。
14	建設部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休農地化農地は、本来の農地としての役割の復元が市の大きな農業政策。</li> </ul>

		<p>地権者にはそのようにご理解ご協力をいただいている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公園が少ないことは十分に認識している。</li> </ul> <p>新たな公園設置は地権者、自治会からの借地による公園の整備の方向で検討。</p> <p>農地以外の場所でも公園候補地があれば借地公園としての整備を検討していきたい。</p>
質問	Q 1 9	<p>県道戸塚茅ヶ崎線の大型トラックの不法駐車による騒音と排気ガスの取締り強化を。</p>
1 5	市民安全部	<ul style="list-style-type: none"> <li>警察によるパトロールを強化している。</li> <li>交番やパトカーによる巡回を強化するとの回答は得ている。</li> <li>本日のような会合には警察からの出席は今後調整する</li> </ul>
質問	Q 2 0	<p>資源物収集、高齢化に対応して戸別収集できないか。</p>
1 6	環境部	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸別収集は高齢化社会にむけたサービス向上、ゴミ減量化、資源化、適正化、不適正廃棄の防止、に有効と認識している。</li> <li>収集運搬費用の問題などから戸別収集はゴミ有料化と併せて考える。</li> <li>メリット：ゴミ減量が期待できる。</li> <li>デメリット：経費増大、道路狭く時間がかかる。</li> <li>一般廃棄物処理基本計画の中でゴミ有料化導入に合わせた戸別収集を検討したい。</li> <li>安心まごころ収集：高齢者世帯などゴミを集積場所まで持ち出すのが困難な世帯が増加傾向にあることを考慮して平成20年度から始めている。利用者世帯を専用車両で戸別訪問して声かけしてゴミ収集することで安否確認も同時に行う。</li> <li>実績は237件、始めた20年度は79件、増えつつある。</li> <li>対象となる世帯としては在宅高齢者65歳以上で要介護2～5までの方と要件があるので、障害福祉課、高齢福祉介護課、環境事業センターにご相談ください。</li> <li>アパートのゴミ収集に問題が発生しているのは他地区でも聞いている。</li> <li>環境事業センター職員が出向いて調整する。環境指導員の方から声かけてください。</li> </ul>
質問	Q 2 2	<p>辻堂駅西口駅南側、階段下にトイレ設置が可能ではないか。</p>
1 7	経済部	<ul style="list-style-type: none"> <li>階段通路の下は、北側に道路が出来上がると通路となるので設置できない。</li> <li>階段下はスペース高さが不足。</li> <li>西側に仮称市民センター25年度秋オープン予定でその中のトイレを使えるよう検討中。24時間利用ではないが、今の状況は改善できる。</li> </ul>
質問	Q 2 3	<p>テラスモール開業で辻堂駅の乗降客数増えた、快速停車 JR への要求を。</p>
1 8	都市部	<ul style="list-style-type: none"> <li>乗車数は平成22年45837人、23年度50203人、前年比4366人増加。</li> <li>乗降数＝茅ヶ崎市10.8万人、辻堂10万人（JRのHPに掲載）</li> <li>JRの回答は今後辻堂駅利用者の大幅な増加を見極めた上で検討とのこと。</li> </ul>
質問	Q 2 6	<p>2人乗り、携帯電話、傘、など違反自転車取締りの強化を</p>
1 9	市民安全部	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政は若い年齢からルール、マナーの遵守、をアピールする事業を展開している。</li> <li>広報誌での啓発記事、保育園や小中学校や事業所で交通安全対策課が出向き啓発。（昨年15853人動員）。</li> </ul>
2 0	内田	<p>安全な自転車道路できないか。</p>
2 1	市民安全部	<ul style="list-style-type: none"> <li>茅ヶ崎の道路は狭隘でなかなか自転車道をつくることができない。</li> <li>市役所前の茅ヶ崎中央通り、青いラインを両側に引き、自転車道を設置。</li> </ul>

		<p>国道の一部も自転車道を作る計画がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市も農協前に自転車道を設置して見ようかと今年度設置予定。</li> <li>・広幅の道路がない中での法定外路面表示、道路交通法にない表示をする社会実験を今年度予定。路線選定してモデル地区を設定して順次拡大するよう検討中。</li> </ul>
質問	Q 2 8	住宅ミニ開発に緑化の義務付けできないか？
2 2	都市部	<p>まちづくり手続き条例で一定の規模（市街化で3000平米以上）では15%の緑化維持、5%の公園づくり、の設置基準は集合住宅に関してで、戸別住宅には規制はない。条例強化、緑の基本条例改正、手続き条例の検討を進めている。</p> <p>25年度中には強化条例を制定し、緑のガイドラインを含めて基本的には強化の方向。</p>
質問	Q 2 9	柳島スポーツ公園設置は60億かかり、農業振興地でアクセス悪い、中止できないか？
2 3	文化生涯 学習部	<p>中島のスポーツ公園周辺に国が進めている新湘南国道、相模川築堤整備の計画がある。スポーツ公園を柳島地区の向河原地区に移転し仮称柳島スポーツ公園として整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存のスポーツ公園としての機能を確保</li> <li>・当該地域の特性を考慮しての駐車場や多目的広場</li> <li>・周辺施設との機能面での連携でスポーツ、リクリエーション施設</li> <li>・災害時に備えた防災機能の充実</li> </ul> <p>上記の運動公園として整備し、あわせて以下を実現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺市道の環境整備、茅ヶ崎駅から浜見平までのバスルートの延伸</li> <li>・徒歩や自動車でのアクセス環境の向上</li> <li>・公園利用地に隣接残存農地を活用し農業主軸の地域の魅力、活力を高める</li> <li>・周辺の営農環境、住環境が良くなるよう務めていく。</li> </ul> <p>事業費は用地取得含めて60億以上だが、PFIなど民間資金やノウハウを活用して設計建設維持運営などを一体的に行って事業費縮減と良質な公共サービスの提供を行う。</p>
2 4	鶴田	現在、遊休農地ではなく活用されている農業振興地域なので農業との整合性が取れない。全市的コンセンサスはない。茅ヶ崎から3kmは離れている。数年で閑古鳥だろう。
2 5	副市長	<p>津波に際して西部地域は相模川逆流によって浸水の可能性が指摘されている。平塚側では築堤がなされているが、今回工事予定の左岸ではなされていない。整備をいち早く国の事業で行って茅ヶ崎市西部地域の不安を取り除きたい。その一貫として陸上競技場の整備を行う。</p>
2 6	鶴田	スタンドも景観に配慮して10m以下で津波対策にはならない。
2 7	副市長	<p>まず、築堤工事の早期実現が重要。</p> <p>陸上競技場が築堤効果を持つのではない。</p> <p>築堤は陸上競技場より西側でこれが津波対策。</p> <p>24、25年で用地買収にかかっている。</p> <p>地権者は90人程度、殆どご理解を得て着々と用地買収が進むと考えている。</p>
2 8	小野江	茅ヶ崎はグラウンドが少ないので閑古鳥鳴くことはない。使う側からみればうれしい。
質問	Q 1 5	シャトレーゼから松浪1、2丁目を通して浜竹雨水幹線に接続する雨水水路に関して。草が伸びて羽虫、蚊、蛇、かえるも出てくる、大雨で溢れる、暗渠化できないか。
2 9	下水道	松浪の雨水、浜竹交番から南側については上流側からの雨水量が多く、雨水幹線改修中。

河川部	山長ビルの所が繋がって今までのサイホンが自然流下となって流れは改善。浜竹交番の北側水路の取り込みをオートボックスの所に変えれば水量は減る。平成 28 年迄掛る。水路は将来的にはボックスを入れて埋め戻し、散策路化などは地元と協議して決める。草刈、パトロール⇒自治会長からも言われている、地元から連絡あれば対応する。暗渠化⇒住民との協議による
-----	---

2. 市民集会議のまとめ 2 討議事項に関するところ・・・1 時間 3 6 分 / 延べ発言者数 3 4 人

左欄の番号は発言番号 中欄は発言者 (またはテーマ) 右欄は発言内容 (またはテーマ内容)

	大テーマ	防災に関すること
	テーマ	防災無線は改善されたのか。
1	市民安全部	<p>○無線子局は半径 2 0 0 m が届く範囲。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子局増設には用地が必要。公共用地があれば設置する。 配布地図を見て希望地などお知らせください</li> <li>・「聞こえない」と「うるさい」の両意見。 地域の皆様と相談して設置場所を決める。</li> </ul> <p>○聞こえ難さをどう補完するか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、茅ヶ崎メール配信サービス、携帯やパソコンの緊急防災情報などあり。</li> <li>・予算審議はこれからだが、TVK、3 c h テレビで文字情報防災デジタル放送を予定。</li> </ul> <p>○7 月から音で確認できる防災ラジオを自治会に 3 0 0 台配布して実験中。 1 0 月までに実験結果を検討して有効な活用を考えてゆきたい。</p>
	テーマ	昼間災害時は働き手が不在となり、地域の中学生の協力が必要。
2	学校教育 担当部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日昼間災害発生時はまずは子どもたちを学校に留めて命を守りたい。 2 4 年 5 月 1 1 日、市内全域で引き取り訓練を実施、浜須賀中も松浪中も 8 割の保護者が迎えに来て非常に安心できるようになった、災害発生時には保護者は小中学校をまわって引きとることがなくなるので安心出来た、との声があった。</li> <li>・学校は避難所になる。避難所が立ち上がって保護者が迎えに来て、あるいはそのままそこで一緒に避難。子どもたちを率いて避難所でのお役立ちも可能。</li> <li>・松浪中は教育目標の中に「進んで地域に貢献できる人になる」、浜須賀中では学校経営方針で「地域との連携による社会性の育成」を位置づけている。 松浪中学校では自治会交流会を何年もやっていて、日ごろから顔の見える関係が目標 災害への対応や身の安全を守る知識を学ぶ、防災意識を高める防災学習に取り組む。</li> </ul>
3	平松	<p>他の人を守る役目も中学生になればある程度は必要では。 災害時には大きなスピーカでの防災放送より普通の FM ラジオが適している。</p>
4	市民安全部	二重三重の通信手段を考える上で行政無線、ラジオ、個別受信機、メール配信等々と整備したい。その辺のアイディアも皆さんと意見交換で整備したい。
5	牧島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この周波数で 5 W 出せば、市役所局舎にアンテナ立てれば茅ヶ崎全体をカバーできる。 緊急時は各自治会と市役所がその無線を使って連絡できると思う、研究して欲しい。</li> <li>・FM 放送、コミュニティ FM が無いのは茅ヶ崎だけ。茅ヶ崎自身で持つべき。 昨年アナログ TV が停止し FM 帯域が空いた。政府に働きかけるチャンス。</li> </ul>

6	市民安全部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・134ある自治会とリアルタイムで災害本部と交信できる様にする提案、今後研究する。一方、全自治会との交信はかなり混乱するだろう、慎重な研究が必要。</li> <li>①対策本部と地域の防災拠点（学校にはMCA無線が配備済み）での情報共有を図る。</li> <li>②拠点の情報を地域に流し、地域から拠点に情報を寄せる。</li> <li>③拠点で集約した情報を対策本部に集約する。</li> </ul>
7	松井	7月から防災ラジオの試行に参加しています。聞こえません。
8	市民安全部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災ラジオは補完策ですから聞こえるところは有効活用をしたい。</li> <li>・聞こえないところは個別対応の中で室内アンテナを調達して検証したい。</li> </ul> 今後も出来る限りのことをしていきたい。
9	飯塚	防災ラジオは家の中に置いてあるがよく聞こえない。 防災無線をもっと徹底して欲しい。松浪公園に1台設置を提案する。
10	市民安全部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線をメインに重点政策として進めてゆく。様々な物理的要件によって聞こえない、障害（聴覚や視覚障害）ある方にも伝達しなくてはいけないので、音声情報も文字情報も必要。</li> <li>聴覚障害の方に”携帯電話のブルブルで察知して文字情報を読む”は実施済み。</li> <li>様々な媒体を活用するのが基本的考え方。</li> <li>・屋外の無線機に重点を置きたい。</li> <li>・補完策として防災ラジオも皆様のご意見を検討して対応したい。</li> </ul>
11	水島	学校防災について。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・この地区に5校あり、各校の学校防災計画、各校きちんと書いてある。</li> <li>県の教育委員会の学校防災指針にも学校は留意されているようだ。</li> <li>・地域との密着性、学校は避難場所ですから大変重要。</li> <li>学校防災計画にもっと地域との連携を重視して欲しい</li> <li>・例えば5.11津波避難保護者引き取り行動、津波退避訓練での保護者引き取りでは地域連携が不足だったような印象。</li> </ul>
12	学校教育担当部長	学校教育指導課、茅ヶ崎市教育委員会では学校での防災計画作成の指針を出している。ご意見を参考にして、これから学校との連携を深めて考えてゆきたい。 5.11の件、学校によっては青少年育成推進協議会などでお話しすれば自治会長さんにも伝わるかと、そういったところでお話しているだろうと考えた。 ただ回覧板などでのお知らせはしなかったと思います。
13	水島	どこかで伝えるではなくて、はじめから地域との連携した形での提案をしている。
14	学校教育担	今後の引き取り訓練に当たって校長会で今回の課題と成果も話し合っている。
15	松井	公立の学校は避難所に指定されている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の防災訓練では各学校を避難所として避難所運営訓練を行う。</li> <li>津波の場合は3階に避難したい、避難場所に使える教室はどこか？</li> <li>避難場所だけど使うのに制限がいろいろある。</li> <li>人数制限も当然ある。教室に入るのに靴でいいか上履きが必要か。</li> <li>・ハザードマップによれば汐見台地区は津波が入ってくる予想がある。</li> <li>学校サイドとしても避難所として地域との連携をもっと重視してもらいたい。</li> </ul>

1 6	学校教育担	校長先生方とも話し合っ地域と一緒に防災のことを考えてゆきたい。
	テーマ	クラスター火災の予想される松浪地区に簡易ポンプの配備を。
1 7	消防部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易ポンプの配置場所⇒消防本部管理下の防災資機材格納庫、防火水槽100立方メートルと十分な消火用水が確保されているところ⇒市内10箇所に配備、有効性を検証中。</li> <li>・簡易ポンプ未配備の地域⇒【設置倉庫＋十分な消火用水の確保】できる場所を調査中。</li> </ul>
	テーマ	消火栓の地元住民による活用を、防災リーダーによる操作を。
1 8	消防部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同時多発火災等の発生時には一般の方が消火栓を使用する消火方法も大変有効。</li> <li>・消火栓は習熟していないと怪我や事故が危惧される ⇒防災リーダーの研修で新たに取り入れる。 防災リーダーだけでなく地域の皆様にも是非習得していただきたい。</li> <li>・消火栓を使うには必要機材がある。 ⇒消火栓を用いた資機材、消火栓の蓋を開ける鍵、バルブを開けるスピンドル回し器具、スタンドパイプ、消防用ホース、筒先、等についても防災資機材整備補助金制度の利用も可能。</li> <li>・火災発生現場付近の消火栓の一斉開放で必要な水量を確保できるか。 ⇒水道管の口径と延長数に対してどの程度の有効水量が得られるかを検証中。</li> </ul>
1 9	名井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易ポンプが松浪地区にはない⇒なぜか、松浪地区には消火用水と倉庫がないから ⇒これがポンプが置けない理由だったらおかしい⇒それ自体が問題なんです ⇒消火用水と倉庫を作っていただきたい ⇒それともこれらは自分たちで用意しなくてはいけないのですか。</li> <li>・消火栓の活用、は消防長と防災対策課も同じ答えでしょうか。 ⇒6ヶ月ほど前の防災対策課の話では、消火栓は県水道局の管理下なので使用の可否は決められないのとのことでした。 ⇒本日の話では【使用可能、用具も補助する】でいいんですね。</li> </ul>
2 0	消防部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松浪地区では小和田出張所には水槽はありませんが、簡易小型ポンプは配備済み。</li> <li>・100立方以下の水槽、40や60立方、は松浪地区にも点在している。</li> <li>・新たな用地確保や設置は自治会でなく消防側で行います。 水槽の設置については計画的にやっています。</li> <li>・消火栓についての今回の回答は防災対策課さんと連携を取っての回答です。 消火栓は県水ですので水道局が管理しています。 災害時には消防本部、消防署が消火栓を使用して消火活動しています。 各自治会で今後、防災リーダーにも研修訓練を行います。 自治会の方も簡易ポンプも含めて訓練の要望あれば消防本部に言ってください。 消火栓も使えますし、簡易ポンプの訓練も実施していきます。</li> </ul>
2 1	警防課長	<p>県営水道の取り扱いについて補足。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時については市民の方が消火栓を使用することは可能。</li> <li>・取り扱いが危険なため、消防本部の訓練をしていただいてから、という形になる。</li> </ul>
	テーマ	安心・安全の施策は近隣市等、他の行政機関との連携も重要、構想をお聞かせください。
2 2	市民案全部	・本市は他自治体、関係機関、民間事業所等々との緊密な連携を構築する協定を締結。

		<p>災害に強い街づくりを進めて行きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒近隣の7市4町逗子、鎌倉、藤沢、平塚、小田原、南足柄、葉山、寒川、大磯、二宮で防災事務連絡協議会があり、これは情報交換ということで開催しています。</li> <li>⇒神奈川県下市町村応援協定を締結している。</li> <li>⇒平塚市とは相模川水害情報連絡協議会で他の自治体も参加した定期的な情報交換。</li> <li>⇒広域的な災害対応では全国規模の全国青年市長会災害相互応援協定を締結</li> <li>⇒茨城県ひたちなか市、千葉県市川市、静岡県富士市と災害時相互応援協定を締結。</li> </ul> </li> <li>民間事業所 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒大型食料品店や建設業協会各事業所と協定を締結しています。</li> </ul> </li> </ul>
	大テーマ	<p>弱者に優しい道づくりを目指して。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>松浪地区は道路が狭い。</li> <li>雨水幹線等の工事に伴って浜竹通りで歩道づくりが進行中。</li> <li>特に東海道線に沿った浜竹1、2丁目の線路脇の非常に狭い道路の懸念。</li> </ul>
23	坂井	<ul style="list-style-type: none"> <li>この街は道が狭い。すべてのことがそこから始まっている。</li> <li>障害を持つ、年を取って足が不自由、怪我をして俄かに不自由になった、方々にとって歩きやすい街であるか、使いやすい道路であるか、を検証してきた。</li> <li>私共が見落としている点、利害が反することがある。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒歩道上に車の出入りのための傾斜⇒歩く／車椅子の人、目の不自由な人、に困難。</li> <li>⇒しかし、車の出入りにはそれが便利、</li> </ul> </li> <li>線路際は道の端に側溝、側溝に蓋、蓋は穴が開いて、その上は歩きにくい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒つま先、或は視覚障害の場合は白杖がひっかかる、車椅子はガタガタする。</li> </ul> </li> <li>車道と歩道が分かれている浜竹通りが危ない。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒障害を持っている人は「浜竹で一番歩きにくい道は浜竹通り」と言う。</li> <li>⇒浜竹通りは歩道と車道に段がある。完成は28年という話しで遅いですね。</li> </ul> </li> <li>浜竹の郵便局の辺の歩道のインターロッキング・ブロックは車椅子では通りにくい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒行政当局はどういう考えなのか、あるいは将来の計画はどうか。</li> </ul> </li> <li>歩く人によっても利害が反することがある <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒点字ブロックは視覚障害者には必要だが、車椅子の人には困る、など。</li> </ul> </li> <li>道というものは大変難しい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒道路行政について行政の方々から伺いたい。</li> <li>⇒住民の皆さんからのご意見も伺いたい。</li> </ul> </li> </ul>
24	建設部	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政が考えている通学路も含めた人に優しい道づくりについて総合的な説明します。</li> <li>浜竹通りは下水道工事が先行している部分は整備工事の中でバリアフリー化進行中。</li> <li>歩道の歴史・・・歩道と車道は単にガードレイルで分離していた時代があった。 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒その後、障害物が邪魔になるとの観点からガードレイルではない歩道の形態へ</li> <li>⇒歩道という位置付けで柵や縁石で分離してなおかつ15cm以上の段差をつける。</li> <li>⇒ここ十数年来、車椅子や弱者に対しては段差の解消に変わってきた。</li> </ul> </li> <li>今、積極的に進めているのが段差解消事業。</li> </ul>

		<p>⇒桜道を茅ヶ崎駅から東方に工事、1中通りから東側へ、来年で段差解消工事は終了。  ⇒その後の進め方は総合計画第二次実施計画の中で総合的に検証していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茅ヶ崎の道づくりについては道路整備プログラムを平成23年の3月に策定。  新しい道づくりは今後10年の優先順位と今進めている歩道の整備を示している。</li> <li>・浜竹通りの桜道から辻堂駅までもこの位置付けになっている。</li> <li>・道路整備プログラムは新設道路と一部の歩道しか載っていないが、緊急輸送路の確保のための橋梁の耐震化も進めている。  ⇒橋一本でも建設費用がかかるので橋梁の長寿命化計画を策定します。  ⇒橋は通常50年で架け替えだったが⇒延命化で、財政の平準化を図る。</li> <li>・橋だけではなく6mぐらいの道路は幹線道路整備維持保全計画を策定。  ⇒今後の道路の維持修繕のあり方、踏み切りの改善の計画、歩道のネットワーク化、電線の地中線化、など道路施策での課題を推進する計画を24年～26年で策定。</li> <li>・弱者にきつい、幅の狭い道もコミュニティ的な生活道路として安心して利用できる道にすることも幹線道路維持保全計画の中で考えます。</li> <li>・この地域で交通事故が頻繁する道路があることは我々も知っている。  ⇒安心して歩ける、自転車もスムーズに走行できる道路、にするために自動車に速度を落とさせる取り組みを検討中  ⇒ハード的な方法と視覚的方法がある。  視覚的方法は1中通りのイメージハンプや狭窄化の事業。  例えば交差点に赤い表示をして交差点の存在を示す、スピード落とさせるマーク、など、地域の方々と協議をしながら道路事業を計画的な形で進めてゆきたい。</li> </ul>
25	日野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な取り組みについてこの場でお願いしたい件がある。(地図提示)</li> <li>・美住町の信号から富士見町の信号、富士見町の郵便局の所迄の道路は事故が多い。  ⇒1月13日子どもづれのお母さんが車に撥ねられ亡くなりました。  ⇒3月2日に中学のところから自転車が飛び出して撥ねられた。  ⇒2日おいて自動車の自損事故。4月高校生が自転車で飛び出して自動車と衝突。</li> <li>・松浪2丁目と富士見町の自治会長が中心に3校のPTA会長に呼びかけて市長さん宛てと警察署長さん宛に要望書を出した。  ⇒スピードの出しすぎを抑えるためにセンターラインは消す。  ⇒車道の幅を狭め、路側帯を広げて緑で塗って側溝に蓋をして平らにする。</li> <li>・警察と市の担当と協議して、センターラインはその年の7月に消してくれました。</li> <li>・その他すぐにできることがあったらやってほしいとお願いしあがなかなか進まない。</li> <li>・この道路は早めに改善を御願いたい。</li> <li>・また12月6日に高校生が衝突。再度、再要望という形で要望書を出した。  ⇒車道を4.5m以下にして路側帯の部分を広げて色を塗るなど。  ⇒交差点を示す表示を交差点の道路に色を塗る。  ⇒「事故多しスピード落とせ」等と書く。</li> <li>・市の担当は3年後の全面改装でやりますとのこと、この市民集会で約束してください。</li> </ul>
26	新家	補足させていただきます。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・私のクリニックの前が交差点で、事故に会った高校生を3人ほど診ました。車がそれほどスピードを出していなかったので3人とも命は助かりました。</li> <li>・車のスピードの抑制が人の命を守る。 ⇒しょっちゅう事故が起きるで、学校にその都度連絡、一時しのぎで全然効果なし。</li> <li>・亡くなった事故を目の当たりにして、思い出だけでも本当に悔しい</li> <li>・本当にこの次とか言わないでこの場で決めて頂きたい。そういう気持ちで来た。</li> </ul>
27	小川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23年1月13日、2月14日に要望書を出しました。市長宛、警察署長宛に。</li> <li>・その後、打ち合わせが何回かありましたが何も決まらない。</li> <li>・次の打ち合わせは4ヵ月後の6月23日。</li> <li>・側溝の御願いをして再要望を出したのが12月。</li> <li>・その次に打ち合わせをやりましょうといったのが7ヵ月後です。</li> <li>・市長宛に要望書を出したものをどう管理しているのか？</li> <li>・この道路は若松町側から整備しているが富士見町側からもできないのか。</li> </ul>
28	日野	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここは生活道路、生活に供する道路です。 ⇒学童保育、松浪小学校と緑が浜小学校の学童保育、公園、新家病院、松浪中学校、郵便局、クリエイトというお店、セブンイレブンも最近開店しました。 ⇒近くにコミュニティセンターができる計画もあります。</li> <li>・生活道路という認識で弱者にも健常者にも優しい道路をよろしくお願い致します。</li> </ul>
29	市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の件、縷々皆さんからお話いただいて率直に申し訳ない思いで一杯です。</li> <li>・要望書の件もまだ、私共市の幹部も十分に拝見していない状況です。</li> <li>・こうした危機管理のなさが、何ヶ月たっても何もコトが進まないという状況と思う。これは本当にお詫びをするしかない、と率直に思います。</li> <li>・日本全国であれだけ悲惨な事故がいろいろな交通事故が多発して、その中で今いろいろな機関が横断的に議論をして現場を検証して必要な取り組みをしなければいけない、と言っている時にそういったことが我々の中でも出来ていないということについて改めて深くお詫びを申し上げたいと思います、本当に申し訳ございません。</li> <li>・この件はすぐに早急に、今日帰りますして緊急に会議を開いて、状況を確認をして来週以降出きるだけ速やかにいろいろな対策について方向性を整理したい。</li> <li>・また、もう一つはこうして死亡事故も含めて路線で事故が多発している所について私たちが組織としてどうやって認識するのかということについても改めてこれはしっかりした仕組みを構築したいと思います。</li> <li>・そういった中で一つお願いがあります。最後に申し上げようと思っていたのですが、この優しい道路をつくっていく、それからこうした事故が多発する道路について事故を少なくしていくということについてはやはり地域の皆さんのご協力もいただかないと何も解決しません。</li> <li>・3年前4年前だったと思いますが、1中通りでスピード出したトラックが中学生を後から撥ねて死亡事故が発生しました。それが起こったときにも地域の方々、挙げて安全対策をすべきだというお話しをしていただきましたけれども実際に行政が取り組みを始めると例えば子どもたちを守るためにガードパイプをつくりたいと言っても</li> </ul>

		<p>家の前は困る、と皆さん言われるんです。ひどい所は反対側の路地から出られないからそこに付けられたら困る。そういう話をされてしまうと色々な取り組みをしたくても出来ない、という状況になる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の件でも、この路線もいろんな意味で地域の皆さん特に、道路の中で強い立場、例えば車であったり、バイクであったり、そういった車両が少し不便をしてでもこの安全を確保するのだということを皆さんも総意として持っていただいて、そうして具体的な取り組みをしないと、なかなか改善できないと思います。</li> <li>・そうしたことも、どういったことを地元の皆さんと共に考えていかなければならないのか、至急に内部で協議をして皆さんにご相談させて頂きたいと思います。その時はぜひ地域のなかで一緒に議論させていただければと思います。</li> </ul> <p>本当に申し訳ございませんでした。</p>
30	小野江	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の頻発するところは情報を集めて市の方と協議をする場を持ちたい。そういった対処を行政側も時間を取っていただきたい。</li> <li>・優しい道づくりとして、学童の通学路の問題、県道と汐見台の歩道の問題がありますが回答いただいております。</li> </ul> <p>以上で討議の方も終わります。長時間にわたりご議論ありがとうございました。</p>
31	植松	服部市長にまとめのご挨拶をいただきます。
32	市長	<p>長時間にわたり様々なご意見を頂きましてありがとうございます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まずもって今の件は早急に対応させていただきたいと思います。</li> <li>・二つ目、討議の一つ目の話題、防災に関して、これも大きな課題を持っております。</li> <li>・学校、市内の公立の小中学校の一番大きな役割は地域の防災拠点、この位置づけを防災計画の中でしております。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①津波の一時退避場所という役割。</li> <li>②大規模な災害があつてご自宅では対応できないという方の避難場所としての役割。</li> <li>③各中学校は大規模災害のときの地域の医療救護所という役割。</li> <li>④自宅で避難生活をしている方への援助物資を配給拠点の役割。</li> </ul> </li> <li>・学校という場所は災害のときに様々な機能を果たすべき位置付けになっている。</li> <li>・今見直し中の地域防災計画の中でもこのような位置付けを内部で議論しています。</li> <li>・学校の校長先生はじめ教職員の皆さん、地域で皆さんの近くに住んでいる配備職員、自主防災組織である皆様方、との関係、地域との関係がうまく連携をしていません。</li> <li>・この数年間、年に1回は必ず打ち合わせ会をして防災訓練のときは一緒に行動するというようなことはしておりましたが、先ほどご質問の中でご指摘いただいたような意味での真の連携というのがまだまだ不十分で、ここを一日も早く確立をしないと災害時にうまく機能できません。</li> <li>・行政内部でも早く課題を整理して皆さんと打ち合わせをさせていただきたい。</li> <li>・火災についても、この地域は消防の水利用について空白の場所がある。そうした場所も含めて一日も早く整備をとということで消防、都市部はじめ関係する部局が協議を始めております。</li> <li>・具体的にどういう手法で皆さんに初期消火に関わっていただいたらいいのか、様々な</li> </ul>

		<p>試行段階で、検証している段階です。それらを整理しながら皆様にもあらためて具体的なお願いをと思っています。その時にはご協力いただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後に一つ、前段でのご質問の中で、市が事業を進めてゆく上で市民の皆さんと情報の共有化がまだ不足していると正直反省をしています。私共も市の広報はじめ様々な形で周知を図りますが、皆様にも関心を持っていただきながら、疑問やご意見あれば市民相談課は何でも受け付けます。何でも必要なセクションから情報を提供するという形を確立しておりますのでよろしくお願ひしたいと思います。</li> </ul> <p>今日は長時間にわたりいろいろご意見いただきました。これからも今日いただいたご意見を踏まえて対応してまいります、本当にありがとうございました。</p>
3 3	植松	<p>服部市長ありがとうございました。</p> <p>松浪地区街づくり委員会副委員長の田島洋子さんから閉会のご挨拶を御願ひします。</p>
3 4	田島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日は市長はじめ行政の責任者の方々ありがとうございました。</li> <li>・ご参加の皆様方からは貴重なご意見、ご質問、ご熱心なご討議を長い時間ありがとうございます。</li> <li>・今日の会を持つことで私たちの要望や提案、意見などを行政の方々にきちんと受け止めて頂くことができました、とてもありがたく存じます。</li> <li>・これからも行政の方々や私共市民もご一緒によりよい街づくり、魅力的な街づくりを進めてゆきたい。</li> </ul> <p>これからもどうぞよろしくお願ひします。長い時間本当にありがとうございました。</p>

以上